

学校に緑のカーテン

浅間小児童が苗植え

浜松市中区の市立浅間の植物を使って夏の間小の4年生106人差しを和らげる「グリーンカーテン」作りが23日、同校でつる性



笑顔を見せながら苗植えを行う児童。浜松市中区の市立浅間小（写真の一部を加工しています）

始めた。

静岡文化芸術大（中区）の中野民雄准教授らが中心になって取り組む小学生の環境意識向上に関する研究の一環。児童は中野准教授らの説明を受けながらゴーヤーとヘチマの苗約130本を校舎横に準備されたプランターに植えた。水やりは貯水した雨水を利用する。順調に成長すれば7月ごろには高さ約10センチに成長するという。

和平凜太郎くん（10）は「土をいじるのが楽しかった。雨水を使って水をあげる道具を初めて見た」と笑顔を見せた。